

## 入会のお誘い

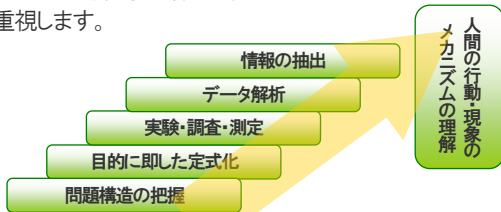
日本行動計量学会は、計量的方法の適用を通じて人間行動を理解することを目指して、理論・方法の開発とその応用の両面からアプローチする研究者・実務家たちが集う場です。1969年8月に発足した「行動計量シンポジウム」が母体となり、1973年9月に設立されました。その後、活発に研究活動を行い、1984年8月には、日本学術会議の登録団体となりました。

学会員の専門分野は多岐にわたっており、広い意味での人間の行動に関する計量的方法の開発、およびその適用について、学際的・横断的な研究活動を行っています。

法律	社会	看護学
政治・国際関係	教育	医学
経済・人口	心理	農林水産・生物
マーケティング	言語	工学
地理	認知・情報	数学・統計学

行動計量学の立場は、特定の手法や分野にとらわれず、さまざまな専門分野の独自性を尊重しつつも、理論・応用の両面から、人間に関する共通の問題や共通の手法について議論し、人間の行動や社会現象に関する理解を深めようというものです。

計量的方法といえば、多変量解析を含む統計的データ解析が想起され、確かに我々の中心的な関心になっていますが、行動計量学は、統計的方法論だけを扱うものではありません。諸分野における行動現象に着目し、以下のような一連のプロセスすべてを重視します。



このプロセスを通して人間行動を規定するメカニズムを解明し、広く人間に関する知識を構築し、社会・経済・文化・技術にわたる諸分野での問題の発見と解決に貢献することを目指します。

したがって、我々の目的は、以下の点にまとめられます。

- 1) 最も広い意味での人間の行動に関する計量的方法の開発と、さまざまな分野への適用について研究すること
- 2) 計量的方法の普及ならびに研究者相互の連絡・協力を促進すること
- 3) 研究成果を社会に還元すること

これらに関心をおもちの方々の参加を待ち望んでいます。現在、さまざまな分野で活躍しておられる方々、これから研究を開始される方々、ぜひ本学会にご入会ください。そして、ともに研究の輪を広げていこうではありませんか。

## 会員について

学会の年会費は次の通りです。

正会員	8,000円
準会員(学生会員)	5,000円
賛助会員	50,000円(一口)

会員になられますと、次の特典があります。

- 次のものが提供されます。
  - 和文・欧文の学会誌
  - 学会会報、メールニュース学会の Web ページ (<http://www.bsj.gr.jp/>) で、これらの見本がご覧いただけます。
- 大会・行動計量シンポジウム・研究部会(地域部会と研究グループの研究部会)などの案内
- 学会誌へ自由に投稿することができます(掲載料無料、査読あり)。
- 大会や各種行事に会員価格で参加できます。また、賛助会員となった団体は、3名まで大会に無料で参加できます。

## 入会方法

入会をご希望の方は、下記宛に入会申込書をご送付ください。

### 入会申込書送付先

日本行動計量学会 会員業務担当  
〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5  
アカデミーセンター  
E-mail: [bsj-post@bunken.co.jp](mailto:bsj-post@bunken.co.jp)  
Tel: 03-5389-6209 Fax: 03-3368-2822

入会申込書は本学会の Web ページ  
<http://www.bsj.gr.jp/invitation/index.html>  
からダウンロードすることもできます。

なお、推薦者にお心あたりのない方やその他のお問い合わせは、下記の学会事務局までご連絡ください。



入会案内 QR コード

### 問い合わせ先

日本行動計量学会 事務局  
Tel: 047-472-1182 [直通] Fax: 047-472-1241  
E-mail: [kikuchi@is.sci.toho-u.ac.jp](mailto:kikuchi@is.sci.toho-u.ac.jp)  
〒274-8510 千葉県船橋市三山 2-2-1  
東邦大学理学部情報科学科菊地研究室内



# 日本行動計量学会

The Behaviormetric Society of Japan

## 入会のご案内



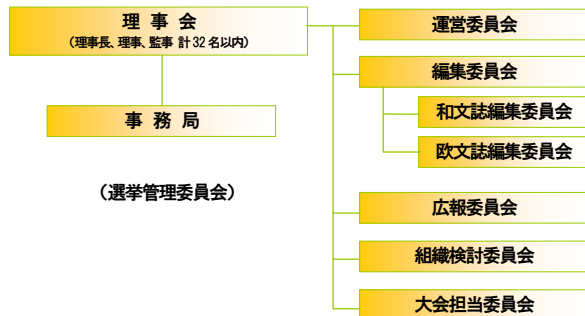
人間の行動の理解

2013年5月

<http://www.bsj.gr.jp/index.html>

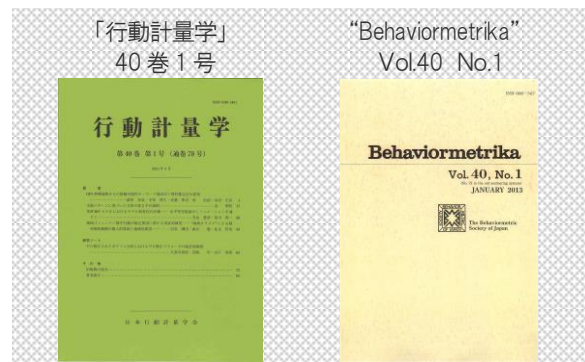
## 学会の構成

学会の構成は、概略次のようになっています。これ以外にも必要に応じて刊行物委員会なども設けています。



## 活動内容

- 大会(研究報告会)・総会の開催 ……年1回
- 学会誌の刊行
  - 和文誌「行動計量学」 ……年2号
  - 欧文誌“Behaviormetrika” ……年2号



- 会報「行動計量学会報」の発行 ……年4号
- 会員専用メールニュースの発信 ……随時
- Web ページ <http://www.bs.j.jp/index.html>

そのほか、行動計量シンポジウム、チュートリアルセミナー、春の合宿セミナーなどを随時開催しています。

さらに、4種類の学会賞(功績賞、優秀賞、奨励賞、出版賞)の表彰制度もあります。

本学会は、統計関連学会連合、横断型基幹科学技術研究団体連合の構成団体です。  
また、「社会調査士資格」の設立3学会の1つであり、資格取得や一般社団法人社会調査協会をサポートしています。

## 学会員数

2013年5月現在

正会員	777名
準会員(学生会員)	53名
名誉会員	12名
シニア会員	25名
賛助会員(法人)	21社

## 最近の研究・教育活動

2013年5月現在

最近の研究状況を見ていただくために、学会誌の「特集」テーマ、大会における「特別講演」や「特別セッション」のタイトル、行動計量シンポジウムのテーマなどを示します。これらの著者や発表者には、大学だけでなく企業に所属する方々が多いのも特徴です。

### A 和文誌・欧文誌の特集

#### ○和文誌「行動計量学」

- 行動計量学的アプローチによる栄養教育
- 郵送調査法—新たな時代の主力手法となりえるか—
- 少子高齢化時代のソーシャル・キャピタル
- 世論調査方法の再検証～「総合調査学」へ向けて～
- 東アジア価値観国際比較調査
- 地理学における多次元尺度構成法の応用

#### ○欧文誌“Behaviormetrika”

- Multivariate Analysis of Investigative Psychology in Britain and Japan
- Recent Developments in Latent Variables Modeling
- Cultural Link Analysis of Japanese Americans

### B 大会時の企画

#### ○チュートリアルセミナー

- 構造方程式モデルによる因果推論: 因果構造探索に関する最近の発展
- シンボリックデータ解析
- 学習評価の新潮流

#### ○特別講演

- 政治文化と民主主義
- The Future of Mixed-Mode Surveys

#### ○シンポジウム

- 世論調査の効用と限界
- 災害報道と行動計量学

#### ○特別セッション

- CS マーケティング
- 非対称データの解析
- 犯罪現象の行動計量

#### ○「医療・看護・福祉」「教育」「心理」等の一般セッション

### C 行動計量シンポジウムのテーマ

- 項目反応理論の基礎と応用
- 調査の実践上の課題
- 渋滞学の新展開
- 21世紀における行動計量学を展望する
- 社会調査と社会調査士
- 世論調査のゆくえ
- 「評価グリッド法」その理論と測定・分析法の現状と進化
- マーケティングと行動計量

### D 春の合宿セミナー

1998年より、毎年3月に開催、合宿形式でさまざまな行動計量学的手法を学びます。最新の計量的手法やその応用に関わる第一線の講師陣による講義を聞くと共に、セミナー形式での質疑応答も活発に行われ、好評を博しています。

- East Asian Social Survey からみた国際比較調査の困難と課題
- マーケティングにおけるベイジアンモデリングの実際

### E 研究部会

研究活動の活性化をはかるため、研究部会を設け、活動経費の助成を行っています。研究部会には、一定地域での研究推進活動や研究普及活動を主な目的とする「地域部会」、および、オリエントリティーに富んだ研究成果を挙げることを目的とする「研究グループ」があります。

これまでも、次の部会が活動しています。

- 岡山地域部会(地域部会、2002～2013)
- 調査方法に関する研究部会(研究部会、2010～2011)
- 態度と複雑系データ解析研究会(研究部会、2010～2011)

### ▼本学会の企画による書籍▼

#### シリーズ「行動計量の科学」

朝倉書店刊 全10巻

1. 行動計量学への招待
2. マーケティングのデータ分析
3. 医療サービスの計量分析
4. 学力評価の新潮流
5. 国際比較データの解析
6. 意思決定の処方
7. 因子分析
8. 項目反応理論
9. 非計量多変量データ分析
10. 統一のカテゴリカルデータ解析